



■快晴 7:00~15:00。木々の新緑輝く小川フィールドとスクウスクウの森(妙國寺境内)の2か所で部会を開催しました。小川フィールドでは竹炭焼き(窯火入れ 7:00~窯内消火 14:00)と12月例会時代倒し“葉枯し乾燥”させていたヒノキの搬出と保管・5月例会用の枕木の加工を行う。小川フィールドの竹炭焼きは竹材の平衡含水率が良かったのか、予定より早く窯内消火となる。スクウスクウの森では、3月に伐倒したナラ枯れ木

(コナラ:直径30㍉、高さ13m)2本を、ロープウインチで平地まで牽引の後玉切り(400mm L×30個)。作業場まで運搬・薪割り作業を行う。薪割りは梅雨前に作業完了したいところだが、薪割り機の運転状態に不具合があり作業が中断した。購入(2017年7月)後約10年経過しており、総点検が必要な時期に来ているようです。チェーンソーなどと同じく動力機器の始業前・始業後点検と定期点検が必要と改めて感じた活動でした。



炭焼き状況。窯の火力を見守る北田さん。



薪用玉切り集積状況

■4月活動報告

クラフト部会長 岩田 幸信



「はなのわマルシェ」作品準備

参加している倶楽部員に、ゴールデンウィークを家族サービスに充てていただく、ゴールデンウィークを避け9日(土)、17日(日)の2日間活動を行いました。それぞれの日に、5名ずつの参加がありました。



9日の作業は、23日(土)にひろしまゲートパークで行われる、広島市主催「はなのわマルシェ」に出す作品の最終確認を行いました。試作品の製作では、それぞれがゴールデンウィーク前に持ち帰った試作品の品評会を行い今後の課題を出し合いました。17日には、ベース基地の裏の斜面の草刈りと、他のメンバーで引き続き「はなのわマルシェ」の準備作業を行いました。

■ 5月11日(月) 松ヶ原キッズフィールド整備他 参加者 17名 環研部会長 佐々木 綾子



今年度も「もりメイトキッズ」が始まります。昨年度からの反省点を克服すべく、環境研究部会の部員が気合を入れ一丸となって積極的に打ち合わせを行っています。

もりメイトキッズの開催アピールにおいては、今年は一人ひとりが宣伝塔となって声掛けや、SNSで伝えたおかげで成果が

出ており、参加者が増えています。同時にプログラムの充実を図って行こうと、皆が熱量を上げており、松ヶ原のフィールドでは少しずつですが作業を進めており、第2トイレの設置やツリーハウスのはしごの製作をして受け入れ態勢を整えています。



新しく設置したトイレ



桐の木の枝を掃う北田さん、川原さん。